2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	医療福祉総合学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	徳吉　淳一	実務経験とその関連資格	実務経験　23年　薬剤師			

《授業科目における学習内容》

①「薬」と「効果・関連する疾患・副作用」の結び付け
②「検査」と「結果・関連する疾患」の結び付け

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)、出席状況(20%)、授業態度(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

改訂　検査・薬理学(建帛社)

《授業外における学習方法》

事前学習は当日の授業の内容確認、事後学習は当日の授業の復習。

《履修に当たっての留意点》

本講義では、「検査・薬理学」の教科書を用いる。
ほとんど触れたことのない学問のため、「検査」「薬」についてイメージしづらいと思われる。
加えて、生理学の要素が含まれるため、よりわかりやすい説明が必要である。
まずは、「検査や薬の名称を聞いて(読んで)、イメージできる」ことを目指す。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査薬理で何を学ぶのか理解できる。 検査の基礎知識を理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	検査・薬理学を始める前に 検査の基礎知識/検査の基礎として覚えておくべき事項		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	一般検査に該当する検査の内容を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	一般検査(尿検査、検便、外観的検査以外の主な検査)、髄液検査		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血液検査に該当する検査の内容を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	血液検査(血液一般検査、血液像、血液凝固検査、骨髄像検査、血液 関連検査		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生化学的検査を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	生化学的検査		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫学的検査を大まかに理解できる。 輸血検査を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	免疫学的検査、輸血検査		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	微生物検査について大まかに理解できる。 病理組織学的検査について大まかに理解できる。 遺伝子・染色体検査について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	微生物検査、病理組織学的検査、遺伝子・染色体検査		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生理機能検査を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	生理機能検査		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	薬理学の基礎知識を理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	薬理学の基礎知識		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系作用薬、中枢神経系作用薬について理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経系作用薬、中枢神経系作用薬		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器系疾患に用いる薬について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	消化器系疾患に用いる薬		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	循環器系疾患に用いる薬について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	循環器系疾患に用いる薬、代謝系疾患に用いる薬		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系疾患作用薬（耳鼻科系疾患も含む）を大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	呼吸器系疾患作用薬（耳鼻科系疾患も含む）について		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	抗炎症薬、ホルモン・ビタミン製剤について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	抗炎症薬、ホルモン・ビタミン製剤について		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	貧血および血液系疾患治療薬について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	貧血および血液系疾患治療薬について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬（抗がん剤）について大まかに理解できる。	教科書 配布資料	【事前学習】該当箇所の読み込み 【事後学習】授業の復習
		各コマにおける授業予定	感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬（抗がん剤）		